

固体物性セミナー 特別回

半導体物理と九州の将来

なかやま まさとし

講師：中山正敏 先生

(九州大学名誉教授)



日時：令和7年5月 20 日 (火) 16:40~

場所：ウエスト1号館 C-408 理学部会議室

講師略歴

1936年福岡県生まれ。

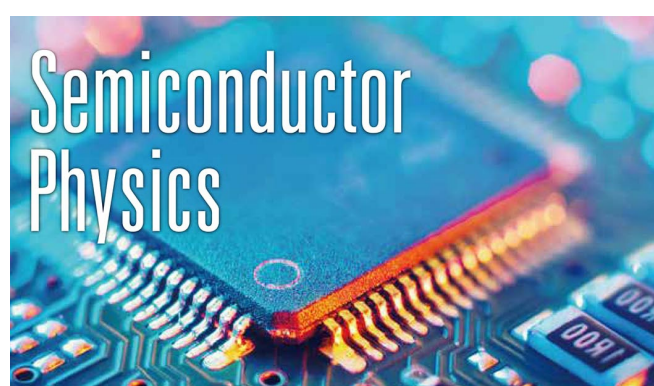
福岡県立修猷館高等学校から東京大学に進み、同大学理学部物理学科を卒業、同大学大学院数物系研究科博士課程を修了。理学博士。

東京大学助手、九州大学助教授。米国ブラウン大学客員教授を経て、九州大学教授、放送大学教授などを歴任。現在、九州大学名誉教授。日本物理学会物理教育委員会初代委員長。

専門は、半導体を中心とする固体物理学の理論、表面の理論、環境システム論、物理教育。

主な著書は、『電磁気学』『基礎電磁気学』『演習電磁気学』（裳華房）、『物質の電磁気学』（岩波書店）、『環境理解のための熱物理学』（共著、朝倉書店）、『ひとりで学べる電磁気学』（講談社）などがあり、ごく最近『半導体物理学』（裳華房）を出版。

趣味は、散策、旧作やアジア・中東映画の鑑賞。



半導体物理学

中山正敏・塚田 捷・名取研二・
名取晃子・齋藤理一郎・福山秀敏 著



半導体・デバイスエコシステム
研究教育センター

CS&DE

Center for Semiconductor and Device Ecosystem

問合せ：九大物理 木村 崇 (t-kimu@phys.kyushu-u.ac.jp)